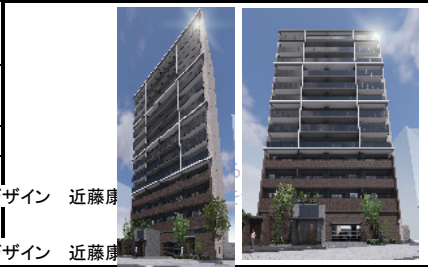


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川西市中央町計画 新築工	階数	地上13F
建設地	兵庫県川西市中央町121番1、124番	構造	RC造
用途地域	計画都市地域	平均居住人員	191 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年1月30日
敷地面積	1,360 m ²	作成者	株式会社IAOプランニング&デザイン 近藤康
建築面積	712 m ²	確認日	2024年1月30日
延床面積	6,794 m ²	確認者	株式会社IAOプランニング&デザイン 近藤康



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 72%

③上記+②以外の 72%

④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	内装材は全面的にF☆☆☆☆を採用し、室内環境への配慮を行っている。外構には緑地を豊富に設けている。低炭素認定取得予定物件	その他 0
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用。1/6以上の開閉可能な窓を確保。外皮等級5相当	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内にできる限りの緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている。屋上に緑地を設置。
LR1 エネルギー	LED照明採用、外皮等級5相当	LR3 敷地外環境 光害対策を行っている。ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物以下。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い建材の採用している。情報社会に対応しCat6を導入。天井高、階高も十分な高さを確保。	
LR2 資源・マテリアル	安全面からノンフロン断熱材の採用、節水機器の採用で資源の有効利用に心がけている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される